

平成29年6月期決算説明

株式会社 オーネックス

平成29年8月29日

Index

■ H29年6月期業績

■ H30年6月期予想

■ 今後の展望

- ・熱処理事業を取り巻く環境
- ・オーネックスグループの経営戦略

■(株)オーネックステックセンター

平成29年6月期の業績

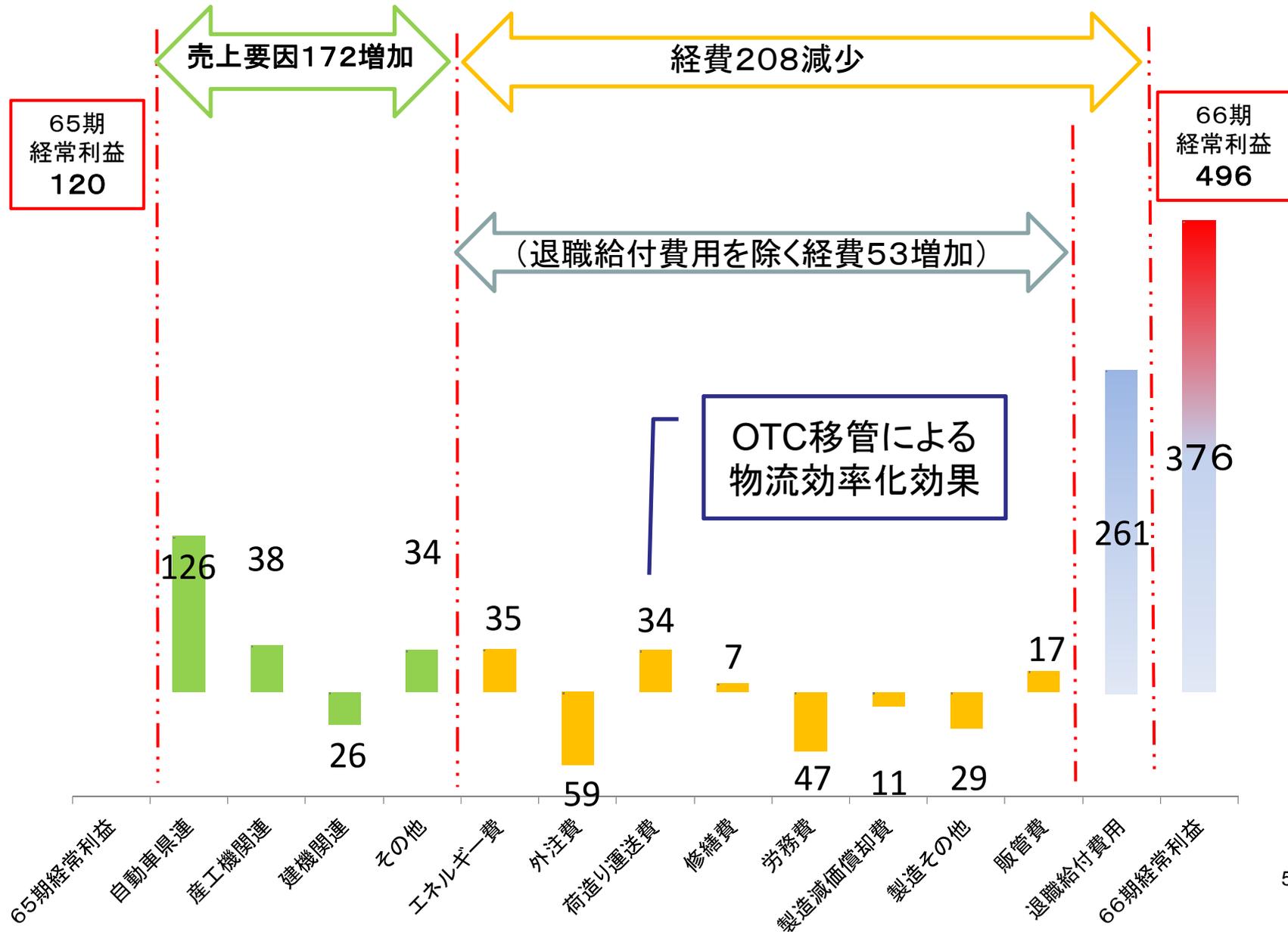
平成29年6月期連結業績前対比

(単位:百万円)

	28/6期	29/6期	増減	増減率
売上高	5,151	5,476	324	6.3%
売上総利益	1,126	1,349	223	19.8%
営業利益又は 営業損失(△)	△32	288	320	—
営業利益率	△ 0.6%	5.3%	5.9%	—
経常利益又は 経常損失(△)	△27	294	321	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会 社株主に帰属する当期 純損失(△)	△85	128	213	—

- 売上高は増加 前期比324百万円
建機関連が低調であるが、自動車、産業工作機械が増加
- 営業利益は増加 前期比320百万円
 - ・ エネルギー価格の低値安定と売上増加
 - ・ 前期のマイナス金利による退職給付債務の評価損244百万円の計上
が今期は発生しなかった

65期(H28/6期) / 66期(H29/6期) 主要増減要因 (オーネックス単体)



平成29年6月期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	28年 6月末	29年 6月末	増減		28年 6月末	29年 6月末	増減
流動資産	3,497	4,265	767	負債	3,995	4,695	699
固定資産	5,647	5,726	79	純資産	5,157	5,301	144
資産合計	9,152	9,997	844	負債・純資産合計	9,152	9,997	844

(内 訳)

流動資産	3,497	4,265	767	流動負債	1,636	1,854	218
現金及び預金	1,354	2,131	777	支払手形及び買掛金	157	201	43
受取手形及び売掛金	1,354	1,287	△ 67	電子記録債務	190	198	8
電子記録債権	410	580	169	1年内返済予定の 長期借入金	408	516	108
固定資産	5,647	5,726	79	固定負債	2,359	2,840	481
土地	2,275	2,275	0	社債	102	57	△ 45
建物及び構築物	1,387	1,312	△ 74	長期借入金	1,373	1,931	557
機械装置及び運搬具	1,083	1,174	90	退職給付に係る負債	721	690	△ 31

平成29年6月期セグメント別業績

(単位:百万円)

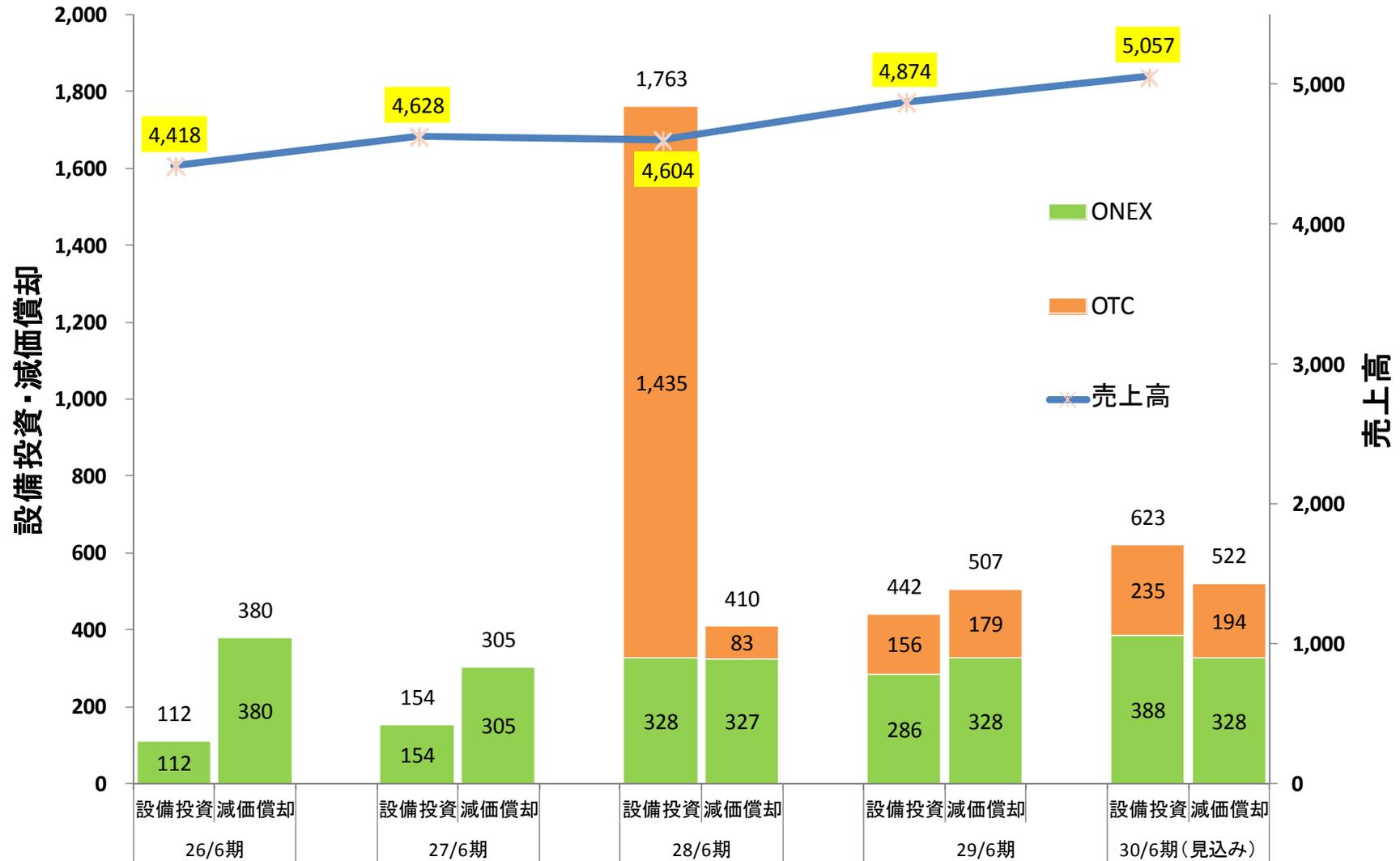
	売上高		営業利益	
	29/6期	前期比	29/6期	前期比
金属熱処理加工	4,874	5.9%	232	—
運送	601	9.9%	21	△12.0%

金属熱処理加工	: (株)オーネックス
	: (株)オーネックステックセンター
運送	: (株)オーネックスライン

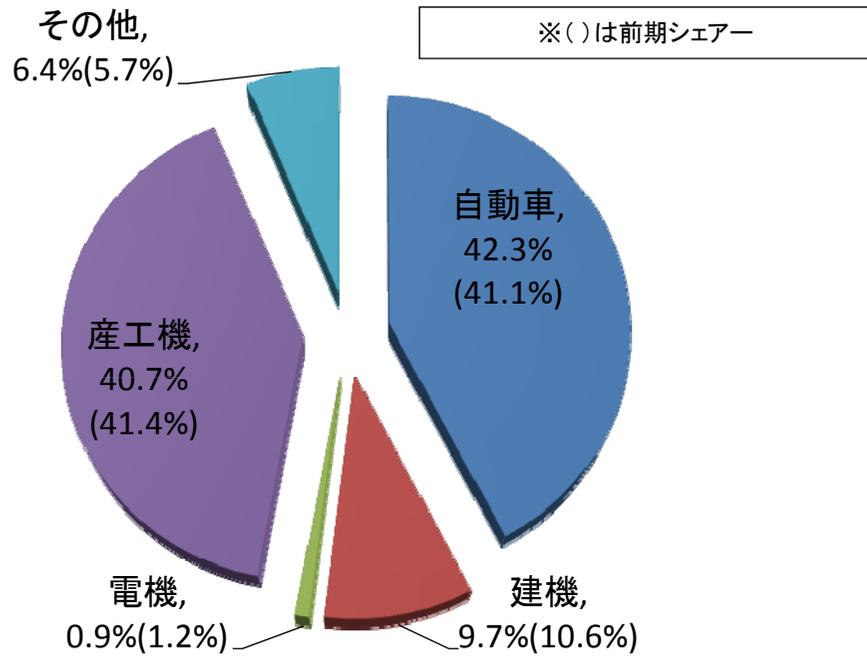
売上高・設備投資・減価償却推移

＜28/6期以降はオーネックスとオーネックステックセンター＞

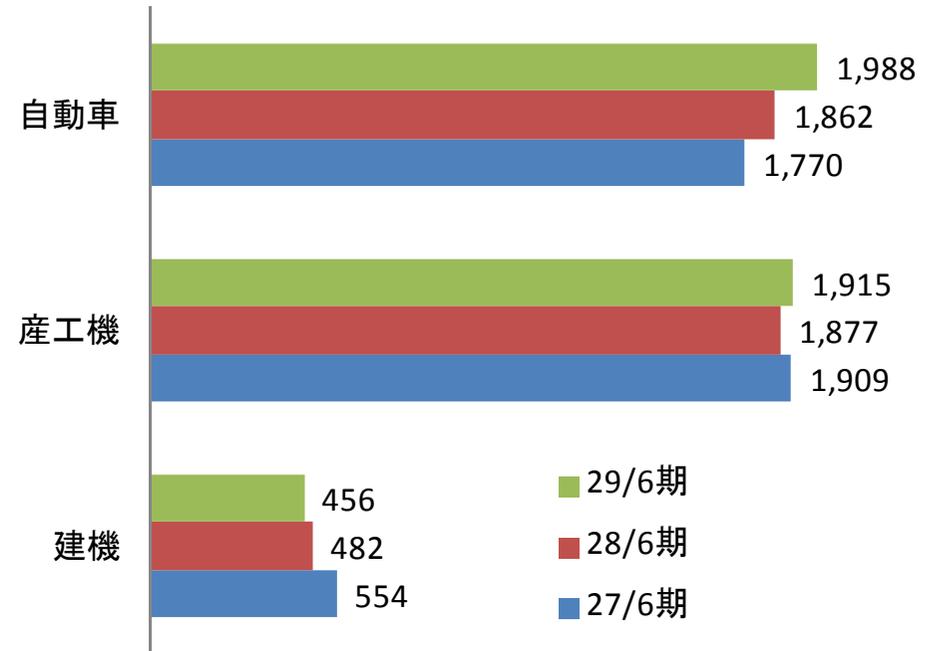
(単位:百万円)



平成29年6月期業種別シェア

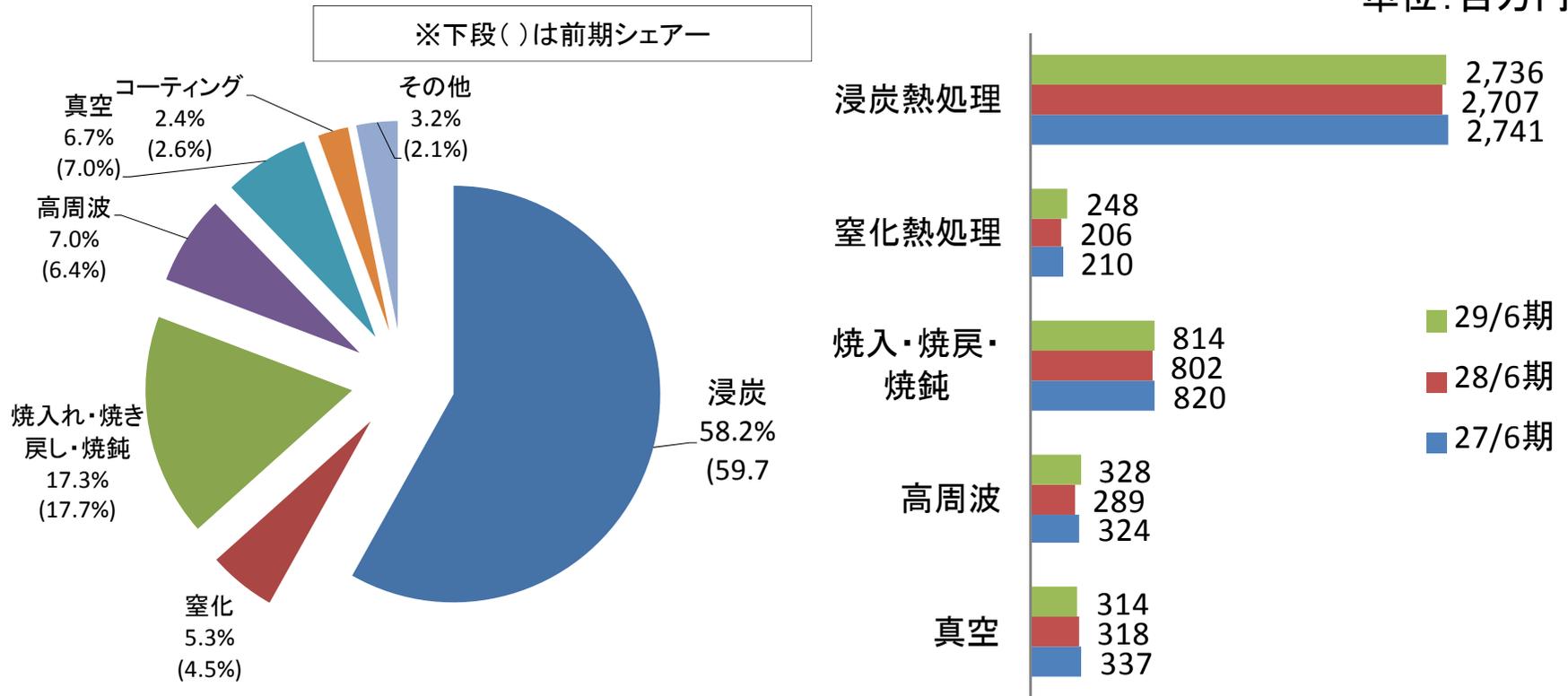


単位: 百万円



平成29年6月期加工種別シェア

単位：百万円



平成30年6月期の業績予想

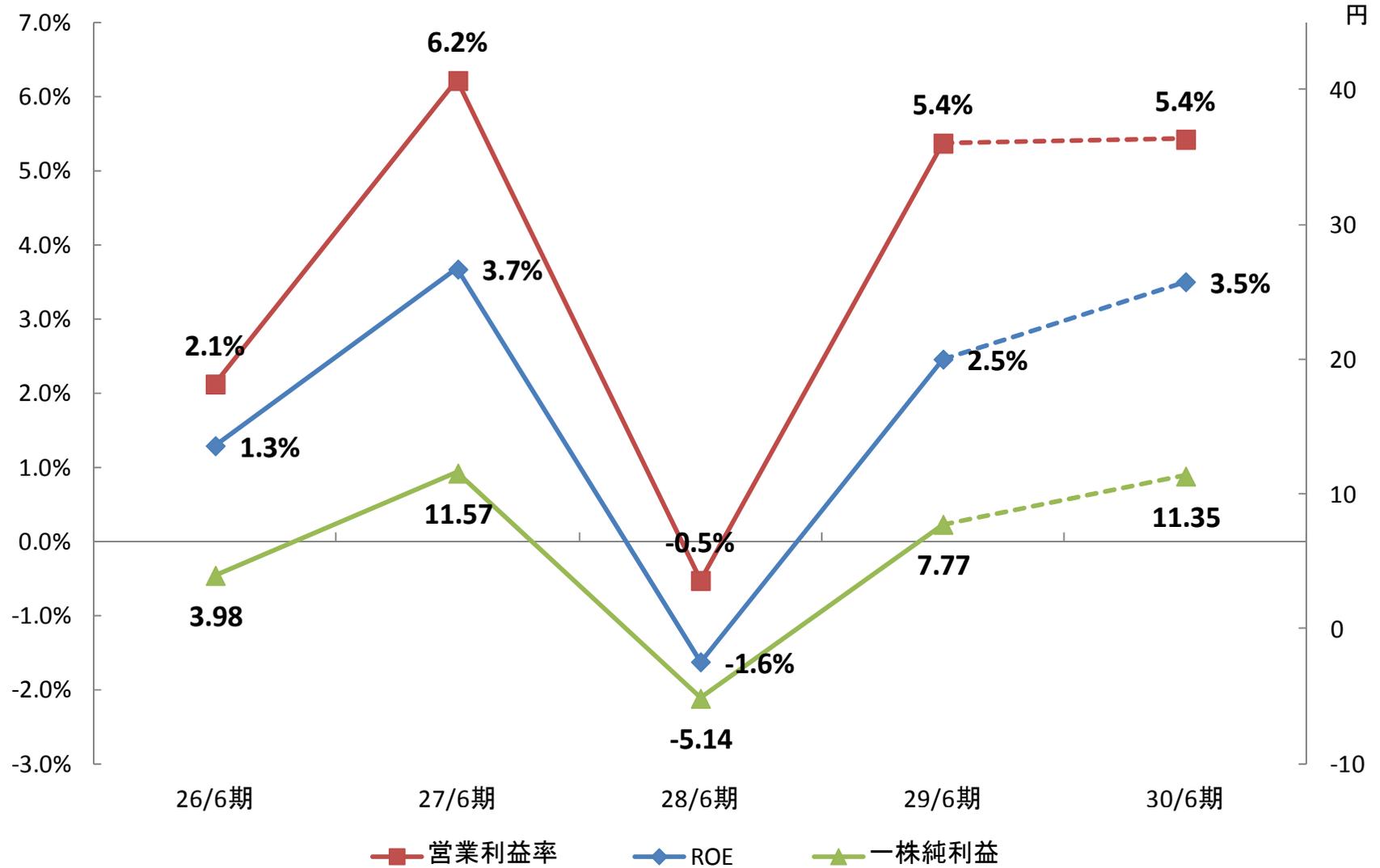
業績予想

【連結】

(単位:百万円、%)

	29/6期	30/6期 業績予想	増減	増減率
売上高	5,476	5,676	199	3.6%
営業利益	288	296	7	2.5%
経常利益	294	308	13	4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	128	188	59	46.2%

目標とする経営指標(連結)



今後の展望

熱処理事業を取り巻く環境

① 環境変化(世界)

- 米中経済を中心に世界経済は回復
- 米国のトランプ政権の政治的な不安定要因
- 新興国の人件費上昇

② 環境変化(国内)

- 国内生産、輸出の回復による緩やかな経済成長継続
- 人手不足の深刻化による、省力化・自動化投資ニーズの高まり

③ 熱処理業界

- メーカーの内製熱処理の外注化
- 熱処理企業の淘汰の進展

オーネックスグループの経営戦略

1. 市場開拓

(1) 自動車、ロボット

自動車関連品、ロボット産業が集積している中部地区の顧客基盤を強化

(2) メーカーの内製熱処理

外注化を働きかけ

(3) 同業他社の顧客

事業承継や設備老朽化等により廃業する熱処理会社の顧客の継承

2. 効率化の推進

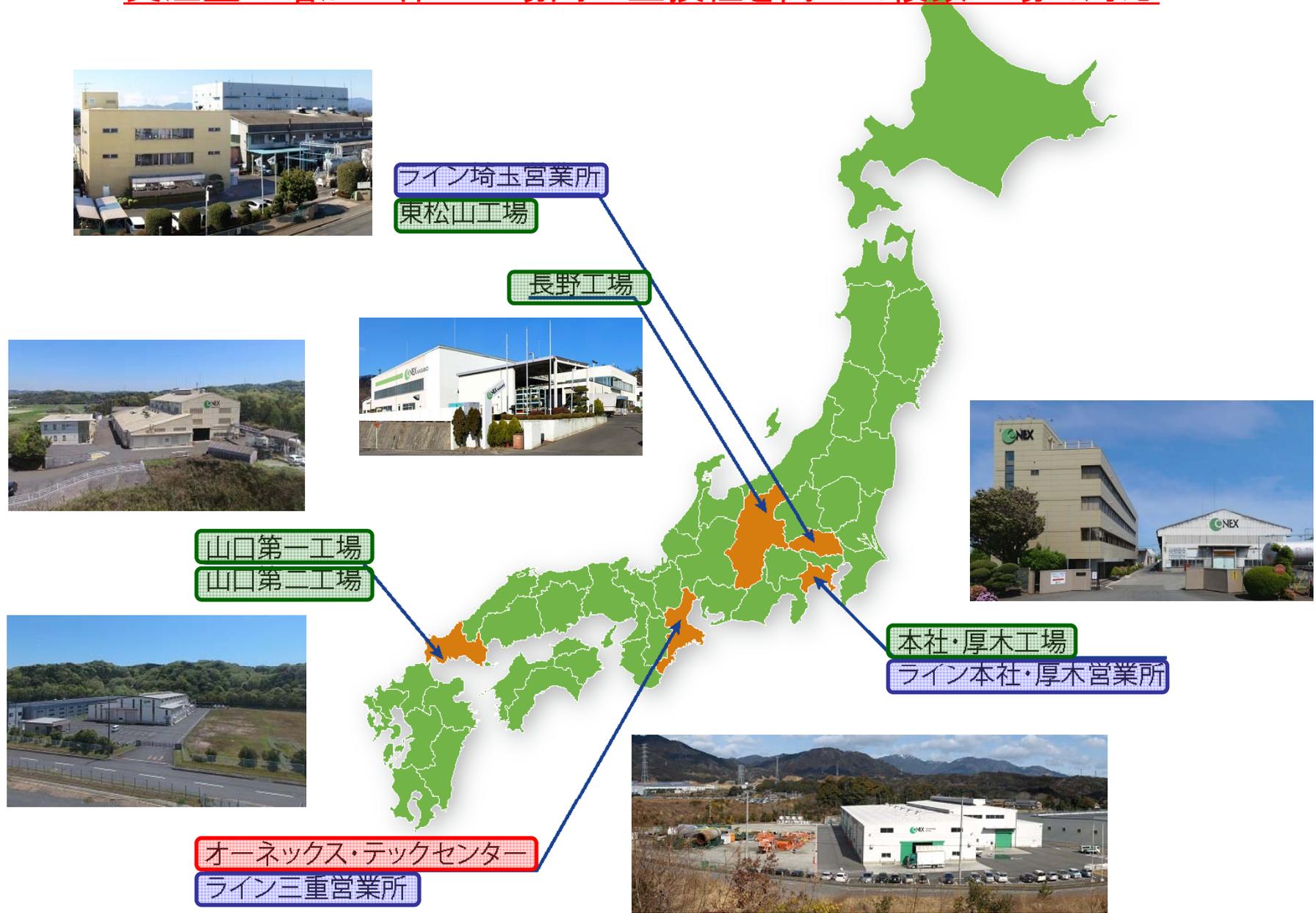
(1) 人員効率化：工場一体化運営の強化

(2) 生産性の向上：設備1基当たりの売上高、従業員1人あたりの売上高

(3) 営業活動の強化：不採算取引の改善（単価、輸送費等）

オーネックスグループ拠点

受注量の増加に伴い工場間の互換性を高めて複数工場に対応



株式会社オーネックステックセンター
(略称: OTC)

株式会社オーネックステックセンター

◆ 設立目的

1. 近畿・東海・北陸エリアの新規顧客の開拓
2. 既存顧客の納期短縮・運送コスト削減
3. BCP対策
4. 日本の産業基盤が集積する3大都市圏をフルカバーする事業基盤の確立

◆ 工場概要

土地面積:21,761m²(約6千6百坪)

建 物:工場倉庫3,100m² 事務所棟900m²

◆ 売上見込

平成30年6月期売上期待値 4億5千万円

◆ 運送部門

工場内に運送子会社である(株)オーネックスラインが、三重営業所を開設
トラック5台配置



オーネックステックセンター



所在地:三重県亀山市白木町字押之尾60-28



シャープ亀山工場

造成中工業団地(10区画)
住友商事

豊田自動織機テストコース
(2018/3竣工予定)

オーネックス
テックセンター

東名阪自動車道
亀山スマートIC

業 績

(百万円)

	売上高	経常利益	減価償却費	自己資本
H 2 9 / 6 期 実 績	227	△238	179	△252
H 3 0 / 6 期 期 待 値	450	△77	194	△274

【H29／6期実績】

1. 量産品に関しては試作を経て、量産化移行し売上増加
2. 新設工場であり、工場建屋や設備の減価償却、税金負担などの支出が先行し赤字計上

【H30／6期期待値】

1. バッチ炉増設・・・量産部品の熱処理受注が順調⇒生産効率化を図るため自動化ラインを拡充
2. 償却前利益の黒字化
3. 営業活動の強化
 - ・オーネックス取引先の移管推進
 - ・新規ターゲット先のセールス強化

ご注意

本資料の業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

夢に向かってチャレンジを続けるオーネックスを
引続きよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 オーネックス